学校番号	3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	（学）総合国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	※学校設定科目のため教科書はありません。						
副教材等	論理国語（筑摩書房）、文学国語（筑摩書房）、錬成現代文ステップ２＋（尚文出版）、大学入試に出た核心漢字 2500＋語彙 1000（尚文出版）、読解を深める現代文単語 評論・小説　改訂版（桐原書店）、トータルサポート新国語便覧改訂版（大修館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目は、様々なものの見方や、近現代とはいかなる時代であるかを学び、学んだことを基盤として多面的に物事を考える能力を身につける科目である。そのためには文章を正確に読み取り、筆者の言わんとしていることとその背景になる物事や思想を正しく理解し、さらに自身の掴んだことや考えたことを間違いなく他者に伝わるように表現することが必要である。様々な文章を読んだり聞いたりする中で、筆者や話者、場合によっては出題者とコミュニケーションをとり、自己の中には存在しなかったものの見方・考え方・表現に触れ、考えを深めてもらいたい。

〈漢字・現代文単語の学習について〉

新たな漢字・新たな言葉を知るということは、新たな概念を得ることである。それは即ち、自らの思考の枠組みを広げ、抽象的思考能力を育む行為なのである。単に漢字・用語を丸暗記するのではなく、きちんとそれらの意味を理解した上で使えるようにして、読解力やコミュニケーション力の向上に役立ててもらいたい。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」「読むこと」を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

期間	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	解釈の対象としての文章と解釈者であり表現者である個について考えを深める。 ［教材］ 「物語るという欲望」 「山月記」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 b［　書　］：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にしている。 b［　読　］：語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色について評価することを通して，内容を解釈している。 c：目的・意図・場面に応じ、言語活動を意欲的に行い、言語感覚を磨こうとしている。	定期考査	発表・記述等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物
前期期末考査まで	近代という時代を通して、思考の枠組みおよび個の位置づけを考える ［教材］ 「近代の成立―遠近法」 「桜が創った『日本』」 「異時代人の目」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 b［　書　］：文章の構成や展開，表現の仕方などについて，伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。	定期考査	発表・記述等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物
後期中間考査まで	表現と世界・時代の見え方について考える ［教材］ 「人新世における人間」 「こころ」 「現代日本の開化」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a：論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 b［　書　］：個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど，文章全体の論理の明晰さを確かめ，自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 b［　読　］：文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察している。 c：目的・意図・場面に応じ、言語活動を意欲的に行い、言語感覚を磨こうとしている。	定期考査	発表・記述等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物

後期期末考査まで	現代における人間と環境について考える。 ［教材］ 「トリアージ社会」 「ビッグデータ時代の『生』の技法」 「自然を守るということ」 現代文問題集・現代文単語・漢字問題集	a:論証に必要な語句や情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，語感を磨こうとしている。 b[　読　]:人間，社会，自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて，新たな観点から自分の考えを深めている。 c:考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。	定期考査	発表・記述等の行動の観察や成果物 定期考査	ワークシート等の提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　５０　）時間